

## 災害時における防災活動協力に関する協定書

千葉市（以下「甲」という。）と株式会社ダイエー（以下「乙」という。）は、次のとおり協定（以下「本協定」という。）を締結する。

### （趣旨）

第1条 本協定は、千葉市域で地震、風水害等による大規模災害（以下「災害」という。）が発生し、又は発生する恐れがある場合の被災者の応急救助等に係る防災活動協力（以下「防災協力」という。）について必要な事項を定めるものとする。

### （協力内容）

第2条 甲は、災害が発生し又は発生する恐れがある場合乙に対し次の各号について協力を要請することができ、乙はこの要請に対し乙の営業に支障のない範囲において可能な限り協力するものとする。

- （1）乙は、乙の店舗及び乙の関係機関において保有する生活必需物資等を供給すること。
- （2）乙は、乙の店舗において、被災者等（帰宅困難者を含む。以下同じ。）に対し避難場所、飲料水、トイレ等を提供すること。
- （3）乙は、乙の店舗において、被災者等に対しテレビ・ラジオ等で知り得た災害情報を提供すること。

2 甲及び乙は、前項に定めがない事項について必要に応じて相互に協力を要請することができるものとする。

### （支援要請の手続き）

第3条 甲及び乙は、相手方に前条の要請を行う場合、文書をもって行うものとする。ただし、緊急を要するときは、口頭あるいは電話等をもって要請し、事後、速やかに文書を提出する。

### （連絡責任者）

第4条 甲及び乙は防災協力に関する事項の伝達を円滑に行うため、甲乙双方の連絡先及び連絡責任者・担当者を別途定めるものとする。ただし、本協定の有効期間の途中において内容の変更が生じた場合は速やかに相手先に報告するものとする。

### （物資の運搬、引渡し）

第5条 甲の要請により乙が甲に供給する物資（以下「物資」という。）の引渡し場所は、甲が状況に応じ、指定するものとし、引渡し場所までの物資の運搬は、原則として乙が行うものとする。ただし、乙の運搬が困難な場合は、別に甲の指定するものが行うものとする。

2 前項の物資の引渡しは、乙が当該物資を、本協定第3条に定める要請文書の写しを提示する甲の職員又は甲の指定する者に引き渡す方法により行なう。ただし、やむを得ない事情により要請文書の写しを提示できない場合、予め甲乙間にて確認し

た身分証の提示をもってこれに代える。

尚、当該受領をもって、甲乙間における当該物資の受渡しの完了とする。

(経費の負担)

第6条 物資の対価及び甲の要請に基づいて乙が行った運搬等の費用は、甲が負担するものとする。

2 前項の物資の対価は、災害発生時直前における適正な価格を基準とし、甲乙協議の上決定するものとする。

(代金の支払)

第7条 甲は、甲が受領した物資に対する乙からの請求書に基づき、災害発生による混乱が沈静化した後、速やかに代金を乙に支払うものとする。

(円滑な運用)

第8条 甲及び乙は、本協定が円滑に運用されるよう平素から情報の交換を行うと共に相互連携を図るための訓練を定期的に行うものとする。

(履行義務の免除)

第9条 乙が被災した場合、甲乙協議の上、被害の程度に応じて乙の履行義務の一部又は全部を免除することができるものとする。

(有効期間)

第10条 本協定の有効期間は、平成20年2月20日から平成21年3月31日迄とする。ただし、この期間満了の1箇月前までに甲乙いずれからも協定解除の申し出がないときは、さらに1年間延長するものとし、その後においても同様とする。

(協議事項)

第11条 本協定に定めがない事項及び本協定の実施について疑義が生じたときは、その都度甲乙双方が誠意をもって協議し、決定するものとする。

本協定を証するため、本書2通を作成し、甲乙記名押印の上、各自その1通を保有するものとする。

平成20年2月20日